

深く味わう

シリーズ～詩篇～

2015年新年礼拝

詩篇34篇5～11節

わたしは主に求め

主は答えてくださった。脅かすものから常に救い出してくださった。

主を仰ぎ見る人は光と輝き

辱めに顔を伏せることはない。

この貧しい人が呼び求める声を主は聞き

苦難から常に救ってくださいました。

主の使いはその周りに陣を敷き

主を畏れる人を守り助けてくださった。

味わい、見よ、主の恵み深さを。いかに幸いなことか、御もとに身を寄せらる人は。

主の聖なる人々よ、主を畏れ敬え。

主を畏れる人には何も欠けることがない。

若獅子は獲物がなくて飢えても

主に求める人には良いものの欠けることがない。

詩篇豆知識

- 150篇からなる歌集

- ヘブライ語聖書の区分では、最後の「諸書(ケー
スビーム)」に属する

- 5巻から成っている

- 1-41, 42-72, 73-89, 90-106, 107-150篇

- もともとはメロディーがあった

- 「～に合わせて」など、音楽的な指示がある

- 詩篇の約半分の作者であるダビデ

- 幼い頃から豎琴を奏でながら歌っていた
- 元祖シンガーソングライター

ダビデ

- ダビデは8人兄弟の末っ子で、まだ戦にも行けない年齢であったが、サムエルによって油注がれ「次期王様候補」となった
- 宿敵ペリシテの戦士ゴリアトを石投げ紐で討ち、サウル王に召し抱えられた
- ダビデは出陣する度に勝利したが、女たちが「サウルは千を討ち／ダビデは万を討った」と歌っているのをサウル王が聞いて、ダビデを妬むようになった
- 民ばかりか自分の息子や娘がダビデに好意を抱くようになったので、サウル王はダビデを殺そうとした

ダビデ

- ダビデは8人兄弟の末っ子で、まだ戦にも行けない年

自分から願ったわけでもないのに王様候補になり、王様のため、民のために一生懸命戦ったがために妬まれ、命まで狙われるようになった!

- 王様になったので、サウル王はメヒタを殺そうとした

この歌の背景

「ダビデがアビメレクの前で狂気の人を装い、追放されたときに。」(1)

「ダビデは立ってその日のうちにサウルから逃れ、ガトの王アキシユのもとに来た。アキシユの家臣は言った。「この男はかの地の王、ダビデではありませんか。この男についてみんなが踊りながら、『サウルは千を討ち、ダビデは万を討った』と歌ったのです。」ダビデはこの言葉が心にかかり、ガトの王アキシユを大変恐れた。そこで彼は、人々の前で変わったふるまいをした。彼らに捕らえられると、気が狂ったのだと見せかけ、ひげによだれを垂らしたり、城門の扉をかきむしったりした。アキシユは家臣に言った。「見てみろ、この男は気が狂っている。なぜ連れて来たのだ。わたしのもとに気の狂った者が不足しているとてもいうのか。わたしの前で狂態を見せようとして連れて来たのか。この男をわたしの家に入れようというのか。」」<サムエル上21:11-16>

この歌の背景

「ダビデがアビメレクの前で狂気の人を装い、追放された」と

サウル王から逃れるために、
敵地ペリシテの町ガトに行っ
たが、そこで正体がばれたの
で、わざと気が狂ったふりを
して難を逃れた

「ダビ
もとに
ではあ
を討ち
にかか
わった
け、ひ
家臣に
たのだ
たしの前
入れようとい

の
デ
千
心
変
か
は
来
わ
家に

詩篇34篇5～11節

わたしは主に求め

主は答えてくださった。脅かすものから常に救い出してくださった。

主を仰ぎ見る人は光と輝き

辱めに顔を伏せることはない。

この貧しい人が呼び求める声を主は聞き

苦難から常に救ってくださいました。

主の使いはその周りに陣を敷き

主を畏れる人を守り助けてくださった。

味わい、見よ、主の恵み深さを。いかに幸いなことか、御もとに身を寄せる人は。

主の聖なる人々よ、主を畏れ敬え。

主を畏れる人には何も欠けることがない。

若獅子は獲物がなくて飢えても

主に求める人には良いものの欠けることがない。

歌と現実

- 「常に救い出して下さった」
 - サウル王に命を粗われ、敵地にまで逃げた
- 「辱めに顔を伏せることはない」
 - ガトの人々の前で気が狂ったふりをした
- 「主を畏れる人々には何も負けることがない」
 - 食糧も武器もなくさまよっていた
- 「主を仰ぎ見る人は光と輝き」
 - とても輝いているとは思えない状況！

深く味わう

●「味わい、見よ、主の恵み深さを」

- ダビデはこのような状況の中でも、「主の恵み深さ」を感じている
- 体験した人だけが味わえる「深さ」がある
- 「？(なぜ)」が多ければ多いほど

●「いかに幸いなことか、御もとに身を寄せる人は」

- 状況が厳しくなればなるほど、主の「御もと」が近くなる

深く味わう

● 「味わい、見出し」

- ダビデはこの「さ」を感じてい
- 体験した人た
- 「? (なぜ)」

● 「いかに幸い 人は」

- 状況が厳しく
近くなる

主の恵みを
深く味わい
見出す年に
なりますように

「主の恵み深

がある

身を寄せる

の「御もと」が